

PERSSON 470 class Japan Championships 2023



SAILING INSTRUCTIONS

Version 6 September 2023

add Log

Amendment 01: 1.4, 18.11 add 4.2,4.5,18.3,18.7 Addendum A change 18.8 Deleted

Organising Authority (OA):日本 470 協会、宮城県セーリング連盟

1. 規則

- 1.1. 本大会は『2021-2024 セーリング競技規則』（以下『規則』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2. SI は NoR よりも優先する。これは規則 63.7 を変更している。
- 1.3. 本大会に適用される全ての規則において、[SP] [NP]の表記は以下を意味する。
 - 1.3.1. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.3.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。
- 1.4. 本大会はセイルに貼付する国旗について、任意とする。

2. [DP] [NP] 識別・カメラや電子機器

- 2.1. [SP]レース中の 2 日目以降それぞれの日に、その日の開始時点で大会順位の 1 位、2 位、3 位の艇の乗員はそれぞれ黄色、青色、赤色のビブを着用しなければならない。ビブは OA から配付される。
- 2.2. 艇は SI Addendum A の指示通り、バウナンバーを表示しなければならない。

- 2.3. 艇はフリートリボンをマスト・トップまたはメインセイルトップバテンエンドに確実に取付ける事。
- 2.4. 艇は OA により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。艇はこの要求に従わなければならない

3. 帆走指示書の変更

- 3.1. レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 10:00 以前に掲示される。
- 3.2. レース・エリアは、D 旗が掲揚される 30 分前までに、または AP 旗が降下する 30 分前までに変更することができる。

4. コミュニケーション

- 4.1. 公式掲示板はオンラインのみとし、大会ウェブサイトで利用できる。
公式掲示板 URL : <https://x.gd/sTSUL>
- 4.2. **[NP][DP]**競技者とのコミュニケーション
大会は、「LINE オープンチャット」で行うことがある。
(なお、LINE オープンチャットでの選手からの投稿は認めない)
- 4.3. 審問は、「Zoom ミーティング」を使用して行うこともある。
- 4.4. 海上では、レース委員会は VHF 無線で競技者に連絡を行う。チャンネルは 72ch とする。
- 4.5. **[DP]**緊急の場合、またはレース委員会が提供する機器を用いることを除き、艇はレース中無線送信もすべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

5. 行動規範

- 5.1. **[DP]** 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 5.2. **[DP]** 競技者および支援者は、主催団体によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

6. 陸上に発せられる信号

- 6.1. 陸上で発せられる信号は、管理棟 2 階テラスに掲揚される。
- 6.2. 信号がレース・エリアまたはフリート旗の上に表示される場合、それはそのレース・エリアまたはフリートにのみ適用する。これは規則レース信号を変更している。
- 6.3. 陸上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「40 分以降」と置き換える。
- 6.4. **[NP][DP]**陸上に掲揚された D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後 40 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

7. レガッタフォーマット

- 7.1. 全日本 470 級ヨット選手権大会は男女の区別をしない大会である。全日本女子 470 級ヨット選手権大会の成績は、全日本 470 級ヨット選手権大会の成績を流用し、女子選手の中で総合得点の少ない順で大会の順位付けを行う。
- 7.2. レガッタは、予選シリーズと決勝シリーズに分けられる。
- 7.3. 予選シリーズ
 - 7.3.1. 6 レースが予定され、フリートに分けて行われる。

- 7.3.2. フリート全体をできる限り同数（同レベル）になるように Yellow、Blue に分ける。最初のレースのフリート分けは、日本 470 協会によって任命された委員会によって振り分ける。また、最初に予定されたレースの日の 10 : 00 までに掲示される。
- 7.3.3. 大会初日に 1 レースしか完了していない場合を除き、各日のレース終了後、艇はシリーズの順位をもとに新たなフリートに分けられる。2 つのフリートが同じレース数完了していない場合は、同じレース数になった時点の順位でフリートに分けられる。フリート分けは次の通りとする。

順位	フリートの割り当て
1 位	Yellow
2 位	Blue
3 位	Blue
4 位	Yellow
5 位	Yellow
6 位	Blue
7 位	Blue
以下同様	

2 艇以上が同じ順位の場合、SI7.4.2 でのフリートの順に振り分けられる。

- 7.3.4. フリートは、まだ決定されていない抗議または救済の要求にかかわらず、各日 20:00 時点の順位をもとに割り当てられる。
- 7.3.5. 同日に 2 つのフリートのレース数が同じだけ完了していない場合、同じレース数になる様に、次の日もそのフリートでレースを続ける。全ての艇はその後に新しいフリート分けを行う。
- 7.4. 決勝シリーズ
- 7.4.1. 6 レースが予定される。
- 7.4.2. 予選シリーズの最終成績順にゴールド、シルバーフリートに分けられる。シルバーフリートは、出来る限りゴールドフリートと同数とし、ゴールドフリートよりも多くなることはない。決勝シリーズの全てのレースは、予選シリーズでの上位艇からゴールドフリートとする。
- 7.4.3. 艇が決勝シリーズのフリートに割り当てられた後、救済判決により上位フリートに昇格させる可能性があることを除いて、予選シリーズ順位の再計算は行わない。

8. スケジュール

8.1. レース日程

日付	時刻
Day0 9月6日(水)	受付登録、計測 0900 -1730 開会式 1600
Day1 9月7日(木)	予選シリーズ 最初の予告信号予定時刻 1025
Day2 9月8日(金)	予選シリーズ TBA

Day3 9月9日(土)	予選シリーズ/決勝シリーズ	TBA
Day4 9月10日(日)	予選シリーズ/決勝シリーズ 表彰式	TBA

- 8.2. 1日のレース数は最大4レースとする。
- 8.3. レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。
- 8.4. 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。
- 8.5. 最終日の予告信号は13:00より後には発しない。

9. クラス旗

- 9.1. クラス旗及び、フリート旗は以下の通りとする。

Event	Fleet Insignia	Color or Background Color
予選シリーズ	Yellow	Yellow
予選シリーズ	Blue	Blue
決勝シリーズ	Gold	Yellow
決勝シリーズ	Silver	Blue

10. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum B に示す。

11. コース

- 11.1. SI Addendum C の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 11.2. コースの短縮は行わない。これは規則 32 を変更している。
- 11.3. 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、選択されるコースを掲示する。また、最初のレグのおおよそのコンパス方位・距離を掲示する。

12. マーク

- 12.1. マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

Marks 1, 2, 3s, 3p, 4s, 4p	New Mark	Starting Line Mark	Finishing Line Mark
赤色円錐台	緑色の円錐台	レース委員会艇	レース委員会艇 青色旗を掲揚した黄色ブイ

- 12.2. スタートマークとフィニッシュ・マークはレース委員会艇か、ブイである。

13. スタート

- 13.1. スタートラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗」を掲げたポールの間とする。

- 13.2. [DP] [NP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。また、回避エリアはスタートラインから 100m とする。
- 13.3. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は規則 A5.1 及び A5.2 を変更している。

14. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b) フィニッシュ・ラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

15. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

16. ペナルティー方式

- 16.1. 規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。
- 16.2. 付則 P2.2 は変更し、2 回目以降のペナルティーに適用される。また、付則 P2.3 は適用されない。

17. タイムリミットと目標時間

17.1. タイムリミットと目標時間は次の通りとする。

Events		Time Limit	Mark 1 Time Limit	Finish Window	Target Time
フリートレース	予選シリーズ	75 分	20 分	10 分	35 分
	決勝シリーズ	75 分	25 分	7 分	45 分

- 17.2. マーク 1 のタイムリミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。
- 17.3. 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインド内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は規則 35 と A4、A5 を変更している。
- 17.4. 目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

18. 審問の要求

- 18.1. 抗議または救済や審問再開の要求は下記 web サイトのオンラインフォーム "["Hearing Request \(抗議書 \(審問リクエスト\) フォーム\)"](#) にて、適切な制限時間内に提出しなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には大会事務局に持参して提出することができる。
- 18.2. それぞれのフリートに対して、[抗議締切り時刻](#)はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 70 分とする。
- 18.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、[抗議締切り時刻](#)後 15 分以内に[通告を掲示する](#)。審問は[管理棟 2 階の審問室](#) (加えて、そのように[掲示された場合に限り、以下に示す Web 審問室](#)) にて[公式掲示板](#)に[掲示された時刻](#)に始められる。
Web 審問室 : <https://zoom.us/j/2031816041>
- 18.4. レース委員会、テクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 18.5. 規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた[艇のリスト](#)を[掲示する](#)。

- 18.6. 規則 64.4 (b) に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。
- 18.7. [SP]印の規則の違反と関連するペナルティーのガイドラインは、[公式掲示板](#)に掲示され、得点記録の略語は STP とする。レース委員会は、ペナルティーが不適切であると考えたとき、艇を抗議することがある。この項は規則 60.1、63.1 および付則 A5 を変更している。
- ~~18.8. [NP]印の規則の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則 60.1(a)を変更している。~~
- 18.9. 予選シリーズ最終日では、審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。
- a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には抗議締切り時刻内。
- b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された場合には通告された後 30 分以内。
- この項は、規則 66 を変更している。
- 18.10. 予選シリーズの最終日、レースを行う最終日では、プロテスト委員会の判決に対する救済要求は判決の掲示から 30 分以内でなければならない。これは規則 62.2 を変更している。
- 18.11. **クラス規則、RRS50.1、レース公示または帆走指示書の規則で[DP]の付された規則、または、審問が行われた場合の[SP]の付された規則の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量で決定され、失格より軽減されることがある。**

19. 得点

- 19.1. 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、下記 web サイトのオンラインフォーム“[Scoring Inquiry \(成績照会のフォーム\)](#)”にてレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事が出来る。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には大会事務局に持参して提出することができる。
- 19.2. 予選シリーズ
- 19.2.1. 予選シリーズの成立には 4 レースを完了する事が必要である。
- 19.2.2. 予選シリーズの得点は決勝シリーズに持ち越される。
- 19.2.3. 予選シリーズの各フリート参加艇数は最も多い艇が所属するフリートの艇数とする。これは規則 A4.2 を変更している。
- 19.2.4. 予選シリーズの終了時に、フリートにより行われたレース数に違いがある場合、最新のレースの得点は除外され、すべての艇が同じレース数になるようにする。
- 19.3. 決勝シリーズ
- 19.3.1. 決勝シリーズ 6 レースが行われる。
- 19.3.2. 決勝シリーズのフリート（ゴールドフリート、シルバーフリート）は個別に記録され、レース数は異なる事がある。
- 19.3.3. 最終順位は、ゴールドフリートの参加艇、シルバーフリートの参加艇の順とする。
- 19.3.4. 決勝シリーズの各フリート参加艇数はそれぞれ所属するフリートの艇数とする。これは規則 A4.2 を変更している。
- 19.4. カットレース
- 19.4.1. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 19.4.2. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

20. [DP] [NP]安全規定

- 20.1. レースに参加（出艇）しない艇は、レースオフィスに書面にて連絡しなければならない。
- 20.2. **[SP]** チェックアウトチェックイン

- 20.2.1. レースに参加しようとする競技者は、出艇前にレースオフィスにて「出艇申告書」にサインしなければならない。
- 20.2.2. 帰着した艇の艇長は、抗議締切り時間内にレースオフィスにて「帰着申告書」にサインしなければならない。
- 20.3. 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。また、帰着後、出来るだけ早く「リタイア報告書」を提出しなければならない。
- 20.4. [DP]レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。
- 20.5. レース委員会がV旗を掲揚した場合、すべてのレース委員会艇とサポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

21. [DP] 乗員の交代と装備の交換

- 21.1. 競技者の交代はレース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。また、レース公示の制限を遵守しなければならない。
- 21.2. 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会に下記 web サイトのオンラインフォーム“[Equipment Substitution\(装備品の交換\)](#)”にてテクニカル委員会に行われなければならない。ただし、オンラインフォームにより提出することが困難な場合には大会事務局に持参して提出することができる。

22. [DP] 装備と計測のチェック

- 22.1. 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。
- 22.2. 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

23. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	ピンク地に 赤色で "RC"
プロテスト委員会	黒地に 白色で "JURY"
メディア	紺地に 白色で "Media"
テクニカル委員会	黄緑地に白色で "Measurer"

24. 支援艇

- 24.1. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m以上外側にいなければならない。
- 24.2. 支援艇は、密を避ける人数しか乗艇してはならない。(6m 以下の場合、2~3 人)
- 24.3. 支援艇は出艇から帰着するまでの間、常に OA が用意したピンクリボンを掲揚しなければならない。

25. ゴミの処分

ごみは支援艇またはレース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡してもよい。

26. リスク・ステートメント

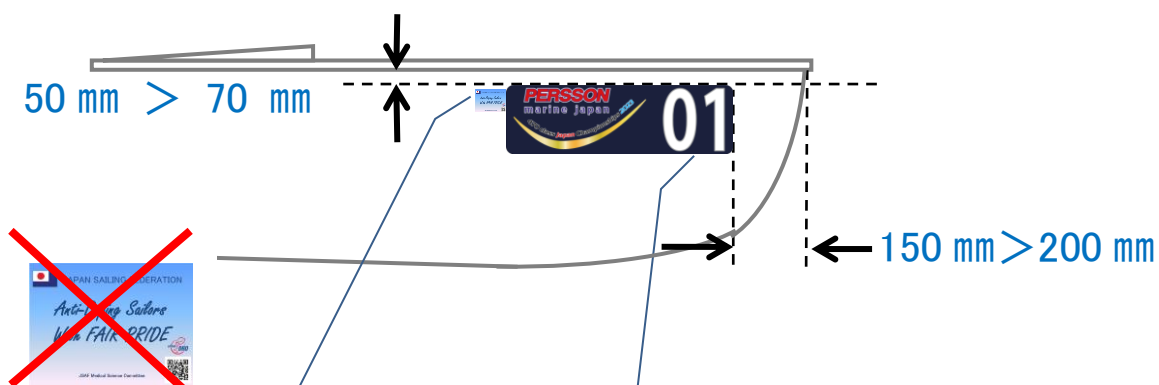
規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

27. [SP] トラッキングシステム

27.1. 準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置（スターボード側のスピンバケツ内。また、シートなどでしっかりと固定すること。）に搭載しなければならない。端末機器は、レース委員会の指示通り、返却しなければならない。なお、トラッキングシステム端末機器受け渡し方法については、別途案内するものとする。

27.2. トラッキングシステムの端末機器の無線通信は SI4.5 違反にはならない。

SI Addendum A BOW NUMMERS



~~ドーピングの啓発啓蒙活動の一環ステッカーは艇体バウのスターボード側の片面に指示通り貼付すること。~~

識別番号バウステッカーは艇体バウのスターボード側・ポート側の両面に指示通り貼付すること。



For the port side



For the starboard side

貼り付け上の注意

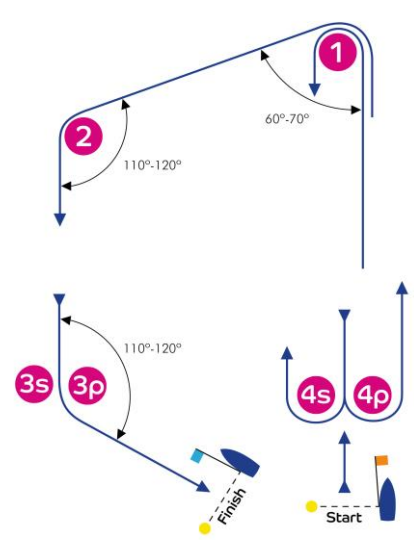
- 貼り付ける場所の汚れを十分落とし、アセトン、シンナー等で脱脂する。
- ステッカーは貼り直しがきかないので慎重に場所を決めること。
- 洗剤等を使用して貼付すると完全乾燥しない場合、波で剥がれる恐れがある。

SI Addendum B COURSE AREAS



SI Addendum C COURSE ILLUSTRATION

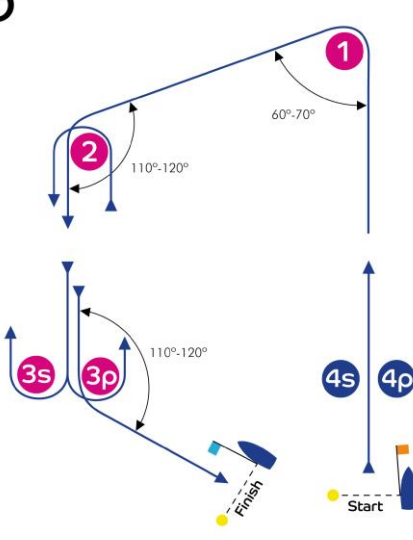
I



Course: Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish

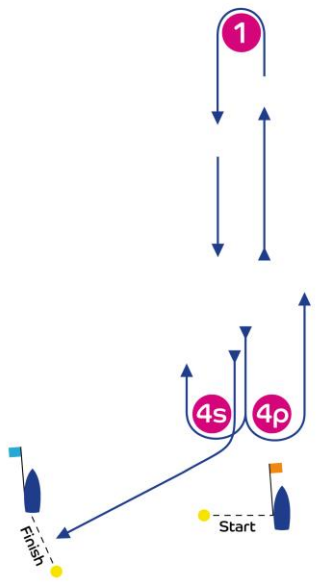
O



Course: Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O3	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O4	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish

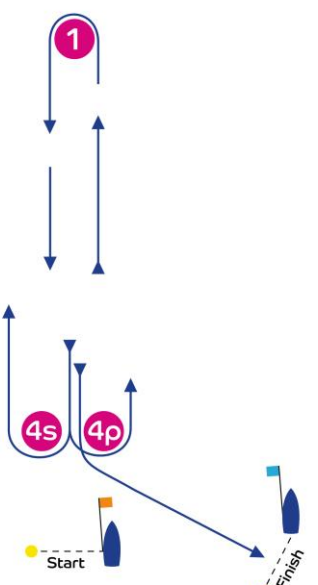
LG



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LG2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish

LR



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish